

江川せせらぎ報告会

藻対策を中心
に活発な討議

代表 松本浩次郎



6月21日
(日)の午後、井田神社の集會場で「報告会」が開かれました。川崎

市からは「上下水道局下水道部管路課」青木課長と室井課長補佐、「中原区道路公園センター整備課」大野課長、「高津区道路公園センター協働推進担当」菱山課長が出席され、ネット側は松本代表、稲本副代表、田辺事務局長や女性代表で中谷幹事をはじめ、ほとんどの幹事が出席し、周辺町会からは明津ボランティア部の佐藤さんが参加しました。

遠藤幹事の司会で始まり、青木課長から「今年度のせせらぎ水路における清掃等の実施内容」について、①水路清掃内容(年3回実施 6月下旬、10月下旬、翌1月下旬に実施)、②水路巡視、点検(週3回実施)③水路の干し上げによる藻類の抑制(10月下旬および翌1月下旬の水路清掃時に併せて実施)、④木柵の補修(明津橋の上流部約150m区間を実施)、さらに地中に埋設されている送水管の一部補修工事を行う予定です。で、地元の皆様のご協力をお願いいたしますとの説明がされました。これに対し、出席者からは①以前に比べ少なくはなったが、今既に



藻が発生し、干し上げの効果がでていないのでは、②クレソン?のような水草が西之辺橋周辺に植えられているが、あれは何か、③等々力水処理センターの高度処理施設が平成36年完成ということだが早められないか、④清掃時期を工夫してみたらどうか、⑤年3回の藻除去に一、一〇〇万円を使うのは勿体ない、⑥藻対策の専門家に相談してみたらどうかなどの意見や質問が出されました。

指摘や要望に

期待

また、公園部分(せせらぎの陸地部分)については、①木道の橋脚部分の腐食が始まっているのではないか、②景観にも配慮して換気塔上流の「藤柵」の花が咲くように剪定してほしい、③西之辺橋近辺の子供の運動広場の「黄色いボール」が劣化している、定期交換したら、④道路との境界のポールが錆びてきている、一部は再塗装されているが、継続してほしい、などの指摘や要望が出ました。その他、せせらぎ遊歩道の「利用者の問題点」として、①鴨やハトへの餌やりはやめるべきだ、②自転車乗り入れ禁止の徹底、③タバコのポイ捨て防止、などの課題が挙がりましたが、利用者個人のモラルやマナーによるところが大きく、解決策には至りませんでした。「江川せせらぎ遊歩道」を更によりよい「憩いの場」にするには、①今日のような「話し合いを積み重ね」、②「出来るところから改善」し、③「利用者にその内容を報告」して行くことが必要だとの「当たり前認識」が確認され、川崎市当局の努力に感謝し、今後

に期待する「報告会」になったのではないのでしょうか。

偲ぶ会のご報告と御礼 森とせせらぎネット

副代表 稲本文雄

「皆様の多大なるご協力を頂き、お陰様を持ちまして誠に克盛大に「偲ぶ会」を催す事が出来ました。誠に有難うございました。」

平井資嘉様を「偲ぶ会」は四月某日、有志による声掛けにより、葬儀後のゴタゴタが収まった頃に実施しようと言う事になり、五月に準備委員会を立ち上げました。五月二十日より三回にわたる会議を行い、入念に準備し、六月



二十七日の「偲ぶ会」を迎えました。天気予報は雨でしたが、日にちが近づくに従って、段々

雨上がりが早まり、当日は雨上がりの絶好のコンディションと成りました。「お祭りでは何時も雨に悩まされていた、祭りの好きの平井さんが、雨を抑えてくれたんだな」と感謝しつつ、早朝の準備に向かいました。

式典が厳かに

役員の方、有志の方々のご協力により、あつと言う間に立派な会場が出来上がり、予定の時間までには会場も満員となりました。立野千秋氏の司会により、黙祷、そして次第に沿って式典が厳かに執り行われました。この様な催しは、一生に何度も体験するもので



は有りませんが、立派にできました事、皆様方のご協力の賜物と、心より御礼申し上げます。

二部の「偲ぶ会」では、賑やかなことの大好きだった平井さんに、喜んで頂けるようにとの、竹村女史の絶妙な企画に倣い、短い時間ながら楽しく華やかに盛大に、皆で楽しむ事が出来ました。また、事前の打診なしにも関わらず、朝比奈市太郎様には「川崎甚句」を市川清作様には「締めのお言葉」をキッチリ頂きました。有難うございました。末筆となりましたが、本会は、第二笑話会の会員と森とせせらぎネットワークの会員で、スケジュールが合い「懐」のお有りの方々へのご案内となりましたが、名士の方々に對しても、一会員としてご参加を頂きましたが無礼の段、平にご容赦願いたいと存じます。



写真撮影 田中達也

編集後記

第37号 森とせせらぎネットワークニュースが諸事情により予定の発行より遅れ会員並び、各関係団体の皆様方には深くお詫び申し上げます。紙面の連載や特定内容も変則的な構成となります。暫くの間、宜しくお願い致します。

広報部 遠藤

せせらぎ文化部 活動報告

文化部長 中谷倭文乃
文化部では、年間活動計画により毎月、管理棟の掲示板にて多くの方に作品を見て頂いて居ります。作品の激励や色々な感想を力に変えて会員また趣味を通じてのお仲間の皆さん達とこれからも頑張ります。

趣向をこらして各教室で指導されます。

せせらぎ文化部

五月のテーマは「折り紙、切り絵展」仲村京子先生です。東京の目黒で生まれ現在は、蟹ヶ谷に住まわれて二十年。趣味で始められた折り紙も今では特養ホームせせらぎ館にて指導されオリジナル性のある個性あふれる作品を管理棟前で生徒さんと発表されています。五月の子供の日には、青空折り紙教室を開催され子供達に喜ばれています。又第一、第三土曜日には特養ホームにて仲間と楽しんでいます。六月の書道展は、晴山信子先生です。子供の頃から始められた書道を年令と共に精進され、いまではいろいろな展覧会にも出品される程の腕前を持たれ折々に楽しんでいます。

管理棟で展示される時には、優しいタッチや力強い作品には感動すら覚えます。また、その魅力に圧倒されます。観る人を引き付ける書には、ファンも多い。今後の作品に期待。

広報部より
文化部長を紹介
中谷倭文乃



中谷倭文乃さん
昭和16年鳥取米子市で生まれる
昭和35年県立境高校卒業
昭和61年女優風見昭子女史と出会いがき絵を始める
平成元年12年間連続個展仲間展開催とうよこ沿線「元住吉」に紹介される。



以前は、社会福祉法人長寿福祉会長寿保育園職員、クラブ活動（文化部）と井田学童ホールの子供たちにはがき絵指導。温厚な性格と人との出会いを大切に、子供たちが将来大きくなった時に、良き思い出が出来るよう又、すくすく成長する課程をそと見守っている中谷部長さんです。

五月と六月の作品から

江川遊歩道の散歩途中に心の安らぎが



故郷づくりの役

灯ろう流し



今年も一年に一回地球の安全、安心、世界平和の祈りと先祖の霊と私達の祈りをせせらぎに思いを込めて



開催日: 8月15日(土)

会場: せせらぎ遊歩道 東屋周辺
灯ろう流し: pm6:00~pm8:00
灯ろうキット: 300円/セット
キット事前申込先: 遠藤 (788-3057)
竹村 (766-5395)
楠本 (766-4545)
田辺 (766-0550)

※当日は、同会場にて例年好評のたらい舟を浮かべます。主催: せせらぎネット 代表: 松本清次郎

灯ろう流しを終えて

森とせせらぎネット

副代表 稲本文雄



今年も、江川の恒例と成りつつある真夏の夕暮れ、人々の平和と安全、子供達の「故郷づくり」

の役となる「灯籠流し」を、八月十五日(土)に、無事行なう事が出来ました。此処のところ、天候にやや見放され気味で、突然の夕立で、ずぶ濡れになりながら後片付けをしたり、少し川沿いを明るくしたいからと、置き

目線で楽しむ

灯籠を設置すれば、予想を上回る大風で、ほとんど消えてしまい、灯籠はスムーズに流れず、沈没続出等と、なんとなく元気の出ないスタッフ達を、大喜びさせてくれた好日と成りました。

昨年好評だった松平氏のトランペットの流れとともに始まった式典、ひとみ座の「三番叟」そして「灯籠流し」と、今年はトラブルも無く、頃合よく「灯籠流し」を始める事が出来



ました。子供達の笑顔と静かに見守るお父さんお母さん。私たちスタッフもユツタリと流れる時間を楽しむ事が出来ました。後片付けも終わり、反省会を「ココ」をお借りして、残りのお茶やおにぎりを囓りながら、行ないました。心なしか反省会も和やかで、来年に繋がる楽しいものとなりました。お天気万歳！

